

第24回 定期演奏会

令和7年5月23日（金）

5月18日（日）14時から、養老町民会館にて第24回定期演奏会を開催しました。演奏会のテーマを『世界旅行～時空を超えて～』とし、1800年代から現在までの世界各地の音楽を演奏しました。演奏会は、車掌さんを模した部員の警笛から始まり、ヨハンシュトラウス作曲『観光列車』、ケテルビー作曲『ペルシャの市場』へと続きました。クラシックステージでは、グリーグ作曲『パール・ギュント組曲より』をメインとし、演劇部員による朗読付きで演奏しました。ポピュラーステージの『千と千尋の神隠しハイライト』では、主人公の千尋が少しずつ自立して行く姿を繊細かつダイナミックに表現することを心掛けました。野球部員からのアンコールの声援をもらい、『僕らまた!』と『ラデツキー行進曲』を演奏しました。部員全員が、今ここで全員そろって演奏できることの喜びをかみしめ、お互いの存在を心から大切に感じることができました。引退する3年生はこの時を名残惜しみながら、いつかまたオーケストラで共に演奏できる日を夢見て、明日からの学校生活をさらに充実させるべく、進路実現に向けて努力します。これからも本校オーケストラ部をよろしくお願いいたします。



↑クラシックステージの『ペルシャの市場』では、演奏に和太鼓を使用して和と洋の融合に挑戦しました。



←天気予報は雨でしたが、朝から快晴となりました。硬式野球部員に積み込みの補助をしてもらいました。



↑アンコールの『ラデツキー行進曲』では、1年次生も加わり、手拍子で演奏会を締めくくりました。



【中学生の皆さんへ】

大垣南高校オーケストラ部は、今年度1年次生20名、2年次生18名、3年次生13名の計51名で活動を始めました。吹奏楽とは異なり、バイオリン、ビオラ、チェロという弦楽器があることがオーケストラの特徴です。オーケストラ部は、岐阜県内には大垣南高校にしかありません。弦楽器の部員はほとんどが高校から楽器を始めますが、先輩が厳しくかつ優しく丁寧に教えてくれるので、夏には曲が弾けるようになります。みんなで練習をしたらすぐに上達できること、それぞれ違う楽器で出す音が重なり合って聴こえるハーモニーがオーケストラの魅力です。ぜひ一緒に演奏しましょう！